

- 4月から行政組織一部を改正……………2面
- 安心で快適な活力のあるまちを目指して……………4-5面
- あいうえ育児……………6面
- 誰からも愛されるまちへ～景観まちづくり～……………8-9面
- 市民スポーツ教室……………10面

平成25年度 4つの基本的な方針 「安心」「快適」「活力」のあるまちの実現に向けて

安心・安全なまちづくり

- 減災への備え、震災に的確かつ迅速に対応する危機管理機能の強化
- 保育園の待機児童解消など子育て環境の充実、学校で発生する諸問題に適切に対応する体制の整備
- 急速に進む少子高齢社会に備えた、保健、医療、及び福祉サービスの向上

質の高い住環境への取り組み

- 良好な住宅都市として発展するための、住環境に関する総合的な施策の展開
- 快適で魅力あるまちづくりに向けた「ガーデン・シティ いちかわ」の推進
- 北部の公共下水道(汚水)の本格的な整備着手、及び外環道路の事業進捗に合わせた浸水対策

ビッグプロジェクトの完遂

- 計画的に進めてきた小・中学校やその他の公共施設の耐震改修、クリーンセンターの廃棄物処理能力の延命化、本八幡駅北口A地区市街地再開発事業などの完遂
- 平成27年度末の完成に向けた都市計画道路3・4・18号の整備推進
- 東京ベイ・浦安市川医療センターの運営計画に基づく診療科目などの充実

行財政基盤を築き直す行財政改革

- 公共施設の経営手法の見直し、人事給与制度改革、及び老朽化が進む公共施設の管理の最適化など行財政改革の推進

逆風に高く帆を上げる 羅針盤は4つの基本的な方針

平成25年度の施政方針が示され、当初予算案が可決された平成25年2月市議会定例会が閉会しました。大久保博市長は施政方針の中で、景気の低迷や少子高齢化による生産年齢人口の減少などで市税収入が横ばいとなる中、道路や下水道などの都市基盤整備、社会福祉などの費用が増大し、厳しい財政運営が続いていくと述べました。

そして一方で、「私は、市民の生活向き合い、将来の暮らしにつながる取り組みを、実行していかねばならない」「今こそ、時代の区切りを越えて、ステップアップしていかなければならない」と本年度の決意を語りました。

施策の推進にあたっては、逆風が市政に吹いているとも例えられます。

今号では、将来に向け、逆風の中を着実に前へ進むための4つの基本的な方針、第二次基本計画のまちづくりの目標である「安心で快適な活力のあるまち」を目指した施策、そして当初予算を紹介いたします。

4-5面の当初予算記事をご覧ください

市民のみなさまへ

決意を持って前進

おおくぼ ひろし
市長 大久保 博



これまで私は、魅力あるまちづくりや子育て施策などの重点的な課題について、市民のみなさまの声に耳を傾けながら、施策全体のバランスと財政状況に配慮しつつ取り組んでまいりました。

この間、リーマンショックに端を発する経済の低迷や東日本大震災の影響もあり、その道は決して順風ではありませんでした。立ち止まることなく着実に前進することができたのではないかと考えております。

平成25年度がスタートしました。本年度も引き続き、保健、医療、福祉や子育てのよう生活に密着したサービス、子どもの安全確保、防災力の強化、住環境の向上、地域経済の発展、道路や下水道などの都市基盤整備、また、小・中学校等の耐震改修をはじめと

するビッグプロジェクトの完遂等に力を注いでまいります。そして、市民のみなさまが安心して快適な生活を送り、より多くの方に「住んでみたいまち」「住み続けたいまち」と愛着を感じていただけるよう、潤いややさしさが溢れるまちづくりを進めてまいります。

同時に、急速な高齢化による社会保障費の増大や高度経済成長長期に拡大した市街地と都市基盤の老朽化への対応、そして長引く経済不況による厳しい財政状況など、さまざまな行政課題を乗り越えるため、決意を持って行財政改革を進めてまいります。

これからも「市民発の行政」を念頭に、市民のみなさまの声を大切にしながら、行政運営に生かしてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。